



“リチウム電池による発火について”

今回の「環境だより」では、多発している家庭ごみからの発火事故に関して、出火原因とされる廃棄物について紹介しております。

火災とならないように排出方法・分別方法の徹底をお願いいたします。

多発する発火事故

近年、回収された家庭ごみが回収車両内で発火する事故や、回収後に処理場で発火する事故が多発しています。以前は、ガスを抜かずに出されたスプレー缶や使い捨てライターが原因と思われる火災が多かったのですが、最近はリチウム電池などの充電電池やバッテリーが原因とされる火災が増えています。

8月に県内のごみ処理施設で火災が発生し報道されましたがご存知でしょうか？東予地区で起こった処理場火災ですが、対岸の火事とは言えない事例が同月、身近な施設で発生しました。私たちの家庭から出るごみは、鬼北町が回収し宇和島地区広域事務組合環境センターへ搬入していますが、同施設において、発火による発煙が確認されました。破碎機からリチウムイオン電池の燃え殻を発見し火元と断定しました。

環境センターでは不燃ごみと粗大ごみを破碎処理しています。電化製品に使用されている充電電池やバッテリーに破碎による衝撃が加わることで発火や爆発する

おそれがあり、禁止ごみとして町では回収していません。一度火災が発生すると処理や搬入などの作業を全て停止しなければなりません。爆発等の大事故となった場合は資機材も故障し、処理することができません。長期間持ち込むことができなくなり、家庭ごみの回収もままならない状況となります。分別方法については各戸にお配りしております「家庭ごみの分別早見表」にてご確認いただき、誤ったごみ出しをされませんようご注意ください。



リチウムイオン電池の焼け跡
上が電池の中身
下が電池の外側ケース

電池の種類について

様々な製品に使われている電池は、一次電池と二次電池の2種類に分かれます。

一次電池とは、使い切りの電池で、アルカリ電池やマンガン電池があります。ボタン型やコイン型の電池もほとんどが一次電池となります。

二次電池とは、充電し繰り返し使える電池のことで、充電電池・蓄電池と言われます。二次電池の種類は多数あり、用途により次のように使い分けられています。

種類	主な用途
ニッケル水素電池	ハイブリットカー、人工衛星、コードレス電話
リチウムイオン蓄電池	ノートパソコン、スマートフォン、携帯電話
ニカド電池	電動工具
鉛蓄電池	自動車バッテリー、非常時バックアップバッテリー



リチウムイオン電池



ニッケル水素電池



ニカド電池

電池の処分方法について

鬼北町では電池を資源ごみとして回収しています。**回収の対象となるのは一次電池のみ**（アルカリ／マンガン／ボタン型／コイン型）となります。

充電式等の**二次電池については禁止ごみであり、町では回収していません**。町では処理できませんので、必ず販売店の回収箱に出すようにお願いします。

二次電池は誤った処分方法により火災が発生し危険です。

二次電池を製品から取り外さず、指定ごみ袋（可燃・不燃）で出したり、資源ごみとしての電化製品回収場所に出されると火災や爆発事故に繋がりますので、分別の徹底をお願いします。

本内容での不明な点についてのお問い合わせは下記までお願い致します。

愛媛県北宇和郡鬼北町大字近永800番地1

鬼北町役場 環境保全課 廃棄物対策係まで

電話0895-45-1111（内線2441）